

## 会議録（要点記録）

令和5・6年度 堺市南区政策会議 第3回全体会	
開催日時	令和6年2月5日(月) 午後7時00分～
開催場所	南区役所 201・202 会議室
出席構成員	(敬称略) 橋爪 紳也（座長）、岸本 啓司（職務代理）、 大島 知子、木谷 利治、小林 晶子、北西 愛、鈴木 有美、 向井 芙美夫、川上 紀久恵、中島 浩恵、中辻 忠行、 今中 未余子、中芝 幸司
事務局 管理職員	南区役所 中山区長、谷口副区長、松本副区長、上山参事、西村参事、 仲田総務課長、喜多区政企画室長、牧市民課長、 川畑自治推進課長、西地域福祉課長、百嶋子育て支援課長、 為野南保健センター所長、檜本南保健センター所次長 市長公室 手取政策企画部先進事業担当課長 泉北ニューデザイン推進室 北口事業推進担当課長
議題	(1) 未来共創高校生部会での議論について (2) スマート区役所の実現による区役所サービスの向上について (3) スマート区役所ロードマップ改訂骨子について (4) 南区のウェルビーイングについて (5) その他

<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・配席図</li> <li>・資料1-1 未来共創高校生部会議論テーマ</li> <li>・資料1-2 3つの方向性に関する意見（発言要旨）</li> <li>・資料2 スマート区役所の実現による区役所サービスの向上</li> <li>・資料3 ロードマップ改訂骨子</li> <li>・資料4-1 ウェルビーイング検討スケジュール</li> <li>・資料4-2 デジタル田園都市国家構想でめざすもの</li> <li>・資料4-4 地域幸福度指標の導入目的</li> <li>・資料4-5 地域の幸福のシナリオ事例</li> <li>・資料4-6 地域幸福度指標 比較資料</li> <li>・資料4-7 ①～③</li> </ul> <p style="text-align: center;">他都市参考資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5-1 南区ブランド「M&amp;GREENs」ロゴマーク募集プラン</li> <li>・資料5-2 南区ブランド「M&amp;GREENs」ロゴマーク募集要項</li> <li>・資料5-3 南区におけるウェルビーイングアンケートに関するアンケート</li> </ul>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

審議状況	<p style="text-align: center;">開会（午後7時03分）</p> <p>1. 開会</p> <p><b>区政企画室主幹</b></p> <p>第2期堺市南区政策会議第3回全大会を始めます。 私、本日の司会を務めます事務局の南区役所区政企画室、宮本でございます。</p> <p>皆様何かと御多用中のところ御出席を賜り、誠にありがとうございます。 本日の会議は公開としており、会議録作成に当たり正確を期すため、議事内容を録音いたします。また、記録のため会場の様子を撮影させていただきますので御了承ください。 なお、本日は河端構成員が所用により欠席でございます。</p> <p>それでは、本日の配付資料を確認いたします。 《資料確認》</p> <p>では、本日の議題についてですが、時間の関係もありまして、議題（4）南区のウェルビーイングについてを中心に皆様から御意見を頂戴したいと考えております。</p> <p>以後の進行につきましては、橋爪座長のほうにお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>2. 議題 （1）未来共創高校生部会での議論について（報告）</p> <p><b>橋爪座長</b></p> <p>それでは、議題に入りたいと思います。 議題の一つ目です。未来共創高校生部会での議論について。 先日、1月18日に未来共創高校生部会が開催され、全大会からは今中構成員と私が参加しております。 まずは、事務局より会議の内容について報告をお願いいたします。</p> <p><b>区政企画室長</b></p> <p>令和6年1月18日に開催いたしました「第1回未来共創高校生部会」について私のほうから御報告いたします。 未来共創高校生部会は、本会議の専門分野別会議であり、南区の高校に在籍する高校生9名が特別構成員として、また、全体会からは橋爪構成員と今中構成員に御参画いただいております。構成員名簿を資料としてお配りしておりますので、後ほど御覧いただければと存じます。 当日は、高校生1名が欠席のため、10名で開催され、部会長には橋爪構成員が、職務代理者には今中構成員が選出されました。 資料1-1を御覧ください。 当日の主な議題としましては、第1期堺市南区政策会議の議論を踏まえた「3つの方向性に基づく事業について」ということで、3つの方向性に関連するテーマをそれぞれ設け、橋爪部会長の進行と、今中構成員からの高校生への御質問などによりまして、高校生から御意見を頂きました。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

意見の要旨につきましては資料1-2を御覧ください。

まず、方向性①の南区独自の防災力向上モデルに関しては、「高校生・若い世代への防災教育について」をテーマとしまして御意見をお伺いしました。

防災のことを学ぶ機会はあまり多くなく、二次災害防止や土砂災害、そして高校生が発災時にどんな手助けができるか、何をすればよいかなど、防災についてもっと学びたい、また、体験型の学びが印象に残りやすいといった御意見が多くありました。

次に、方向性②の子育て・教育、健康長寿などにおける南区ウェルビーイング総合プロジェクトに関しては、「高校生が困りごとや悩みを相談しやすくするには」をテーマとしまして御意見をお伺いしました。

御意見は悩み事の解決方法について、そして行政への相談について、相談しやすい場所や環境、居場所についての3つに分けて整理をしております。

悩み事の解決方法に関しては、悩みが深刻であれば、親友や親、部活動関係の身近な人など、信頼関係の構築された人に相談することが多い。また、ネットやSNSでの相談については、情報の信憑性に疑問があるとの意見もありましたが、オンラインの匿名相談がよいと答えた高校生がほとんどでした。

行政への相談に関しては、行政に相談できるということを知らない。自分の「心」を打ち明ける、聞いてもらえる環境であること、そうしたサポートメニューがあることが伝わっていないといった意見がありました。

相談しやすい場所や環境、居場所に関しましては、毎日行きたくなるには楽しさが必要である。雨天でも遊べるよう屋内の遊び場があるとよい。また、泉ヶ丘駅の近くに緑の小さい丘があり、友人とよくそこで集まっていた。そのような単純で簡単に立ち寄れるような場所が高校生には集まりやすいといった意見がありました。

方向性③の南区ブランド戦略「みどりとともにかなえる豊かな暮らし」に関しては、「ロゴマークの活用について」をテーマとして御意見をお伺いしました。

既にある南区のマークもほとんど知られていない。ふだんから目に入るところにないと覚えられない。SDGsのマークは目に入るいろんなところにあるために、多くの人がおおむね認知している。封筒に印刷したり、駅にポスターを掲示したりするのも有効。まずは「何か見たことある」という存在になることをめざしてほしいといった意見を頂きました。

高校生の部会を設置するといった試みは初めでの取組でしたが、非常に活発に御意見を頂き、我々が今後取組を進めていく上で大変参考になる御意見を頂戴できたと思っております。

高校生が発言しやすい環境をつくっていただきました橋爪座長、今中構成員、本当にありがとうございました。

以上でございます。

**橋爪座長**

ありがとうございました。

高校生の部会を行いました。どのような感じだったでしょうか。今中さん、もし御感想などあればお願いします。

**今中構成員**

貴重な機会を頂きましてありがとうございました。もっと斜に構えた感じ

かなと思っていたら、意外とみんな熱き思いを持っておられて、地域に対して自分たちに何ができるかとかいうことを非常に真摯に考えてくださっていたのが印象的でした。

ただ、ちょっとロゴマークのことと、あと相談窓口については、ちょっと我々の思惑と違うところのコメントもたくさん頂きましたので、その辺も含めて、軌道修正すべきところはしながら進めたらいいのかなというふうに感じました。

以上です。

#### 橋爪座長

ありがとうございます。

各学校ともに生徒会の会長、副会長等で、主に2年生のみなさんです。年度を超えて継続して議論をしましょうという形になっております。

会議が終わったらすぐ連絡先の交換とかして、違う高校の人たちですけども、こういう機会をきっかけに、学校を超えて話し合おうみたいな雰囲気が出たのがよかったなど見ておりました。

では、本件は報告事項ですので、特に構成員の方から御意見なければ、先へ進めさせていただこうかと思えます。

## 2. 議題 (2) スマート区役所の実現による区役所サービスの向上について

#### 橋爪座長

では、議題の2つ目でありますスマート区役所の実現による区役所サービスの向上について説明をお願いいたします。

#### 区政企画室長

11月14日に開催しました第2回全体会において、区民サービスについて御議論いただきました。その際に、事務局より「オンライン化、デジタル化による、区役所サービスの向上」についての資料をお示しさせていただいたところですが、オンライン化、デジタル化を進めるといった部分のみが強調され、来庁者の方への対応が不足しており、南区がめざす、全ての人に寄り添う「やさしい区役所」の説明に欠けているところがありましたので、改めて資料を御提示させていただきます。

お手元の資料の資料2を御覧ください。

南区役所では、環境、人、情報を要素として、戦略総務という考え方に基づき、「やさしい区役所」を支えるため、多様性とDXの視点で区役所機能の向上をめざしております。

デジタル・ディバイド解消に向けた支援を強化しながら、区役所に来なくても、どこからでも、いつでも区役所サービスを楽しむ環境を整えつつ、一方で、デジタルに慣れているかどうかは関係なく、お越しいただいた区民の方には、より簡便で迅速に手続きができる環境を整備し、丁寧できめ細やかなサービスを提供する、全ての人に寄り添う「やさしい区役所」の実現が南区役所がめざすべきところでございます。

この両面で区民サービスを進めていく点を御理解いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

以上でございます。

橋爪座長

本件につきまして、何か御質問、御意見等ありますでしょうか。  
前回から変更したところがあるということではありますが、よろしいでしょうか。

では、先へ進めさせていただきます。

## 2. 議題 (3) スマート区役所ロードマップ改訂骨子について

橋爪座長

次の議題でございます。

スマート区役所ロードマップ改訂骨子について、事務局より説明をお願いいたします。

区政企画室主幹

資料3、ロードマップ改訂骨子の資料を御覧ください。

前回の全体会におきまして、令和3年度に作成いたしましたスマート区役所ロードマップにつきまして、現ロードマップに掲げる令和6年度以降の姿を実現するために実施していく必要がある取組を令和7年度末までの年次計画として改訂を行う予定であるということの説明させていただきました。その内容につきまして、資料のとおり改訂骨子としてまとめましたので、お示しさせていただきます。

先ほど区政企画室長から説明させていただきました区役所サービス向上の考え方に基つきまして、主な取組といたしまして、窓口台帳予約や各種証明書の電子申請、AIチャットボット導入によるお問合せ対応など、ICTによるお越しいただかないためのサービス向上を図るほか、タブレット端末を用いた窓口サービスの向上やサイン改修などによる、来庁者の方にとって優しい区役所になるための取組、大阪府が導入を進めております府民サービスアプリ「MyDoor OSAKA」を活用いたしました各個人の状況に応じた情報配信、自然体験施設などと連携して南区の魅力情報をオール南区として発信する取組、区役所でのスマホ相談会の随時開催など、デジタル・ディバイド解消支援の強化を行うといった内容としております。

今後、取組の具体的な内容をロードマップ本編として取りまとめまして、令和6年4月1日に改訂を行う予定でございます。南区役所では、引き続き、スマート区役所の実現をめざしてまいります。

以上でございます。

橋爪座長

本件で何か御意見、御質問があればお願いいたします。

向井構成員

すみません、電子化を図るところで、チャットというのが出てくるんですけど、そのチャットでよくあるのが、あらかじめ質問をこちらで用意したチャットに多分なっていくんじゃないかな。その中で、最後、その他、選択条件がない場合に、一番最後は電話でお問合せがやっぱり欲しいなと思います。

橋爪座長

事務局いかがでしょうか。

**区政企画室主査**

方向性的はそういう形になるかと思っております。民間のチャットボットとかの内容は基本的に電話をさせない形での対応という形にしておりますが、区役所の場合は電話で受けなければいけないと思っております。

**橋爪座長**

ありがとうございました。

ほかにも御質問あるかと思いますが、先へ進ませていただいて、後でまた本件も御確認ください。

2. 議題 (4) 南区のウェルビーイングについて

**橋爪座長**

それでは、次でございます。議第4、本日の主たる議題でございます。南区のウェルビーイングについてであります。今後の議論をどういうふうに進めていくのかにつきまして、まず事務局から進め方について説明をお願いいたします。

**区政企画室長**

お手元の資料4を御覧ください。

南区役所では、第2期堺市南区政策会議で御意見を頂きながら南区のウェルビーイングとはどのような状態なのか、どういったものなのかということ定義していきたいと考えております。

南区のウェルビーイングの議論を進める中で、どういった要素が必要なのか、御意見を頂戴する中で、南区役所としてどういった施策・事業を実施していくことが南区のウェルビーイングにつながるのかを検討し、皆様の御意見を今後の施策・事業に反映させていきたいと考えております。

また、堺市南区基本計画は令和7年度の改訂を控えております。定義された南区のウェルビーイングについては可視化をして、次期堺市南区基本計画に反映させていくこととしております。

南区のウェルビーイングについての議論は本日の会議より本格的にスタートいただき、資料4の検討スケジュールにお示ししましたように、今後1年間をかけて御議論をお願いしたいと考えております。その間、未来共創高校生部会や南区選出市議会議員との意見交換においても御意見をお伺いすることとしております。

また、次回以降の全体会での議論に当たりましては、南区ウェルビーイング見える化プロジェクトとして、現在、大阪公立大学、NTT、そして堺市が連携して取り組んでおります南区ウェルビーイングのアンケート調査の分析結果等も見えていただきながら、議論を深めていただきたいと考えております。

この南区ウェルビーイングの議論につきましては、次期堺市南区基本計画への策定につながる重要な議論であると考えております。皆様、どうぞよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

橋爪座長

ありがとうございました。

およそ第3回、第4回、第5回の3回の会議で、順次、報告とか原案が出てまいりますので、御意見いただきたい。

本日は全般的に考え方等、進め方等々御意見いただいて、次回、アンケート結果が出てまいりますので、それについて御意見いただく。第5回の段階で可視化についての方法論等々原案出てまいりますので、そこで御意見いただいて、南区選出市議会議員との意見交換会を経て、年度末に最終的な案とするというふうな流れになっております。

本日は、まずは枠組み等々の御理解を深めながら御意見を頂くということで、まず私のほうからウェルビーイングについてご紹介をさせていただきます。最近よく使われ出した新しい概念ですので、その説明をまず冒頭にさせていただきますと思います。

資料4-2を御覧ください。

緑色のお椀みたいなものが描かれているイラストです。これが国のデジタル田園都市構想の図であります。ウェルビーイングというふうに英語になっておりますが、括弧して日本語で「心のゆたかな暮らし」というふうに説明がついております。

この絵の見方としては、公共サービスのインフラとかデジタルインフラをベースに我々の暮らしが従来とは違って浮かび上がるようなイメージです。何かプロペラがついて空中に浮上しておりますが、従来とは違う地域社会が浮かび上がってくるというイメージだと理解をしております。

そのベースになるのが産業のデジタル化です。街の在り方も変わるでしょう。暮らしも変わっていくでしょう。我々にとって大事なことは、この暮らしの革新という部分です。この皿の上に乗っかっている時間軸をよく見ていただくと、生まれてから100歳で亡くなるまで、まずお子さんのときはギガスクールがあり、20代から40代と働くようになり、60、80、100歳に至る中で、それぞれ従来とは違うデジタル化された社会で我々は人生を送るイメージが書かれております。

スマートホーム、スマートヘルスケア、防災レジリエンス、地域経済循環型、Ma a S、Super Cityというように、新しいまちづくりの考え方の下に、持続可能な社会、心豊かな暮らしができる地域、地域発の新しい産業、リノベーション、産業革新が起こることがこれからの地域にとって大事だと示してあります。従来型ではない方向を示す柱として、持続可能な社会とウェルビーイング、そしてデジタル化がある。これらによって心豊かに誰もが暮らせるような地域をつくっていきましょうというのが、国が示している今後の地域の考え方です。

次、資料4-3を御覧ください。

ウェルビーイング（心のゆたかな暮らし）と先ほどありましたが、この資料では順序が変わってしまっていて、ウェルビーイングに対して、地域幸福度指標という日本語をあてています。先ほどの「心のゆたかな暮らし」が「地域幸福度」という言葉に置き換えられております。ウェルビーイングは、基本的に「心の豊かな暮らし」ないしは「地域幸福度」という日本語に翻訳されるもののようです。

具体的にどういうものかという説明に、2つありまして、ひとつがウェルビーイングとは身体的、精神的、社会的に良好な状態であるという考え方です。健康であるというよりも、肉体的にも精神的にも社会的にも満たされて



いる状態であることというのがWHO、世界保健機関の定義であります。これに寄り添った定義をしようということです。ですので、身体的、精神的、社会的に良好な状態をめざしましょうということになります。

2つ目として、**Social Determinant of Health** という健康の社会的決定要因という考え方があります。個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的・社会的状況のことです。要は人々が幸福であるためには地域環境、外部環境もきちんと整っているんだということが大事だということを示しております。

資料4-4を御覧ください。

日本の現在の政策で地域幸福度、ウェルビーイング指標の開発、導入する目的として、そこに6つの柱が並んでおります。

スマートシティ、まちづくりにおける人間中心主義を明確化などがひとつ目です。データをとることが目的ではなくて、デジタル化した結果、市民の幸福度が向上することが目的であることを言っているわけです。

市民の視点から見て、暮らしやすさと幸福度が満たされていること。ここはウェルビーイングの日本語の当て方は「幸福感」になっています。暮らしやすさと幸福度を数値化、可視化することで判断する。要は市民がいかに暮らしやすいか、いかに幸福かということの数値化して考えていきたいと思います。

3つ目、ここが非常に重要ですが、ランキングではなくて、自治体が個性を磨く機会を創出すること。ほかの都市と比べるのではなくて、各自治体が個性を磨く。特徴とか強みを伸ばすために、データを基に各自治体で考えてくださいということが書かれております。

先ほど御紹介したWHOの国際的な枠組みを同様に考える。日本の基準と世界の基準をそろえたいということがあるようです。客観と主観での両方を活用する。無料でオープンソース化することが書かれております。従来のいろんな指標というのは、客観的なものがありましたが、その両方を今回はうまく活用したいということでもあります。そこで自治体ごとの理想的なデータと、市民の主観によるアンケートデータ両方を使う。しかもそれに誰もがアクセスできる、公開されているということが大事だということが書かれております。

まちづくりのEBPM、ワイズスペンディングに役立っていることも重要だとされています。データに基づいた政策立案、検証や政策効果が進めば、最初から政策効果が高いサービスを展開できる。要は従来の政策の中で地域幸福度に資するものではなかったものは、地域幸福度を高めるような施策に変えていくということが導入の目的になっております。

資料4-5を御覧ください。

日本の様々な自治体のいろんな特徴を基に幾つかの仮説が並んでいます。4-5で御紹介していますのは、恐らく堺市南区で考えると、緑が多い、緑のある町だということアピールするというのが前提となる。そこで自然環境との共生に着目する都市の事例、ほかにもいろんなタイプの町、幾つかのバリエーションがありますが、ここでは自然環境と共生する都市の事例の考え方を示させていただいております。

右のほうに該当するKPIとありますが、緑色が客観指標でだいたい色が主観の指標であります。ここにありますようなものが南区では重要なものだろうということなのですが、この真ん中のチャート図を見ていただくと、これがいろんな町とか村とか、タイプによってこの1から13の書いていることの並び方が、がらがら変わります。これが自然環境との共生に着目する都市

の場合で、一番上に自然環境と共生へのシビックプライド向上、我が町に暮らし、緑が多い町で暮らせることに関して、非常に地域が誇らしげに思うんだという点が最上位にあって、そこから市民のウェルビーイングが向上するというような流れに記されています。

市民の方が、ここでは区民ですが、区民の方が自然環境との共生が南区の大事なことだという思いを持つと、矢印で下のほうにも流れていっておりますが、それがコミュニティ意識の醸成につながるとか、南区のブランディングにつながるとか、それが地域の政治活動への参加、政策的アウトプットを得て、またよりよい自然環境、緑の多い地域をつくることで、よい循環が起こるとなっています。

心身の健康とかいうところのさらに上位のほうの自然保全の意識というのは、これは一つの事例です。いろいろなパターンがあるかと思われませんが、この種の考え方が、国が示しているデジタル田園都市の説明資料の中で出てまいります。

以上、簡潔に御説明をさせていただきました。

これらの資料等々を使いながら、日本中の自治体、調査をされております。結果が既に公開されております。南区も公開されております。それにつきまして、事務局より説明をお願いいたします。

#### 政策企画部推進事業担当課長

今、座長がおっしゃっていただきました主観指標のまとめにつきまして、資料4-6にて御説明させていただきます。

まず、資料の見方ですけども、資料の4-6を見ていただきまして、こちらのほうが全国約7万5千人の方に聞いたウェルビーイングの主観指標のまとめでございます。これとは別に客観指標というのも客観的な指標としてございますが、今回は主観指標について御説明させていただきます。

まず、1ページ目につきましては、堺市全体の主観指標を取りまとめたものでございます。一番左下に回答者数ということで1, 132の母数が書いてございます。1, 132人の方のアンケートを取った中でのウェルビーイングのチャート図。これは偏差値が50になっておりますので、50であれば全国平均、55以上であればかなり高い。60を超えてくると非常に高いというような形で御理解いただければと思います。

チャートの真ん中の上のところに、医療、福祉であったり、買物、飲食、住宅、環境と書いてございますが、こちらのほうを基本的には見ていただけるのかなと思っております。

ちょっと資料のほうを順番に繰りながら見ていただければと思います。

まず、1ページ目が堺市全体の主観指標のまとめ、2ページ目が南区のまとめでございます。こちらにつきましては、赤で囲い込みをしております。後ほどまた御説明させていただきますが、南区に関しましては、かなりウェルビーイングの値が高い、偏差値が高いということをもた後ほど御説明させていただきます。

それから、参考としまして3ページ目、和泉市さんの主観指標のまとめを書いております。こちらにつきましても後ほど御説明させていただきます。

次のページをめくっていただきますと、堺市の堺区と南区と和泉市を少し比較したような表が出ております。こちらのほうにつきましても、赤で囲い込みをしております。南区の特色というのを後ほど少し御説明させていただきます。

それと、最後のページ見ていただきますと、こちらもちャートのほうでオ

レンジの線と青い線と灰色の線が出ているかと思えます。こちらのほう、偏差値が60に近いようなところにあるような、南区の特色が出ているようなところを堺市堺区と南区と和泉市と比較したものでございます。これを見ていただきましても、基本的には、面積の数で言いますと、やはり南区というのはウェルビーイングが高いのかなというところが分かるかと思えます。

ただ、こちらのほう、座長が先ほどおっしゃっていただきましたように、あくまでランキングとして使うのではなくて、我々堺市の南区のいわゆる特色を見るために現在比較しているというところでございます。

ちょっとお戻りいただきまして、特色だけ御説明させていただきたいと思えますので、横の折れ線グラフになっております、4ページ目にあります生活環境指標、堺市堺区、南区、和泉市比較と書いている表を少し御覧ください。

ちょっと完全に一致させているわけではないので、見にくいかもしれませんが、赤い囲みをしているところが堺市南区の中で偏差値が60を超えている非常に高いところを示しております。介護福祉のサービスであったり、娯楽施設がある、あるいは小中学校が整っている、通学しやすい学校環境である、それから町なかや公園等で歩ける場所がある、自慢できる自然環境がある、空気や水がきれいというところが偏差値60を超えているということで、これは非常に高いのかなと。それ以外のところにつきましても、偏差値58とか56ということで、非常に高い数字を示しているということが分かるかと思えます。

次のページへ行きまして、地域の間人関係、自分らしい生き方指標というところを見ていただきたいんですが、こちらは60を越えてないんですが、58以上あるところにつきまして赤で囲みをしております。南区の場合は町内に対して愛着があるということであったり、見知らぬ他者も信頼できるよというところ、それから人がどう思うかが気になるというか、自分のコンシヤスといいますか、自意識というところが高い。それから女性が活躍しやすいということも高いということの結果が出ております。

このようなところを見ていきますと、非常に南区の住民の皆様は自分の町、あるいは生活に愛着を持っているということが分かるのかなと思っております。

ただ、こちらの指標のほう、南区につきましては、現在、回答数196名というところと、やはり高齢者の方、50代、60代、70代の方の回答数が多いということもございまして、若い方の意見なども聞きながら、このあたりの深掘りを今後していきたいと考えております。

やはり南区につきましては、自然環境であったり、地域との共生であったり、子育て環境というところが一つの特色なのかなというのが、現在、国のウェルビーイング指標の中でのまとめを見ているところでございます。

以上でございます。

#### 橋爪座長

ありがとうございました。

このような形で、日本中全ての自治体のデータが公開される形になっております。比べたらいけないというように国のほうは言っていますが、こういうのを見ると比べたくなります。南区は割と点が高い、平均50ですので、かなり高い点ですけど、逆に騒音とか防犯対策等はぎりぎりちょっと平均より低いとか、そういうのが見えてまいります。

自治体ごとにどこがいいか、どこが駄目かというのは違っているんだというのを見ていただければと思います。

では、ただいまの資料説明等を見ていただきまして、全般に南区の暮らしやすさとか、ウェルビーイングとはどういうものかということにつきまして、全般的に御意見、御質問等ありましたらお願いいたします。

あと、今後の進め方も踏まえまして、御意見、御質問があればお願いいたします。

いかがでしょうか。どなたからでも結構です。挙手いただければと思います。

お願いします。

#### 中辻構成員

すみません、まず、この指標を見て思ったことが、このアンケートに答えられた方というのは、200人程度ですね。そのうちまた50代、60代が多いわけですね。となると、この数字、この指標がどうなのかなというのがあります。

なぜそう思うのかといたら、南区は50代、60代の方は結構多いんですけど、20代、30代の方は少ない。つまり20代、30代が南区に対して愛着を持ったりとか、この町に住みたいと思うことが少ないんじゃないかなと思われるので、もっと20代、30代のウェルビーイングに対する指標をもう一回取ったほうがいいんじゃないですか。確かに和泉市とか堺区よりはいいかもしれませんが、この指標と、私らが感じているものに若干ずれがあるような気がするんですけど、どうでしょう、アンケートをもう一回取る気はあるんですか。

#### 政策企画部先進事業担当課長

ありがとうございます。

今、中辻構成員がおっしゃるとおり、あくまで20代、30代の件数、これと言いますと20件しかございませんので、この指標がイコール若い方ではないと我々も認識してございます。

このアンケートの母数自身を増やすということにももちろん一つ価値はあると思いますが、一方で、我々がちょうど、今、進めているのが、一旦、若い方の大体の意見というのはここから抜き出すことができますので、20人しかいてませんが若い方の意見と、あるいは高齢者の方の意見を両方照らし合わせまして、例えば娯楽施設であるとか、移動や遊びというところが、実際にはその方々はどういうふうに思っているんだという深掘り調査というのをちょうど、今、やろうと思っております。

実はこれ、今、ネット上でアンケートをまとめているところでして、こういった高齢者の方も若い方々にも深掘り調査というのもしながら、ここの精度を高めたいなと思っております。

これはあくまで傾向として考えておりますので、こういった傾向がある中で、我々、南区のウェルビーイングが高いから何も問題がないと思っているわけではなくて、やはり若い方の意見をもっと聞かないといけないと思いますし、そのために何を深掘りして、どんな施策をしていかないといけないのかというのを追っていきたいなと考えております。

以上です。

橋爪座長

次回のこの会議で若い人の深掘りの結果とかまた報告いただけるスケジュール感でしょうか。

政策企画部先進事業担当課長

そうですね、はい。ちょうど、今、若い方のアンケートが欲しいと思いながら調査しておりますので、その辺りの結果も御報告させていただきたいと思っております。

中辻構成員

ということは、南区子育て支援課のほうから、今日、手紙来たんですけど、ウェルビーイングのアンケートに答えてくださいというのは、ターゲットは、保護者、言うならば、こども園の保護者に、20代、30代、40代の方をできたら狙えということですか。

政策企画部先進事業担当課長

いえいえ、あからさまに言っていないんですけど、例えば南区の学校・園にもウェルビーイングのお知らせをさせていただいております、まず、今回の指標で少ない若い方々、20代、30代、40代の方にアンケートに答えていただきたいという意向はもちろんございます。高齢者の方のアンケートが要らないといっているわけではないので、タッチポイントといいますか、アプローチの仕方は、若い方に答えていただきやすいように、少し、今、工夫しているところでございます。

橋爪座長

ほかいかがでしょうか。  
お願いします。

鈴木京子構成員

ちょうどアンケートのお話が出たんですけど、年代というのもあります、高齢の方と若い世代。障害のある人たち、多分、南区にも大勢住んでおられると思うんですけども、そういった人たちのウェルビーイングに対しての考え方とか御意見というのをアンケートの中でこういうふうに取り上げられているか、工夫されているかというのを知りたいのと、あと高校生を招いた未来共創高校生部会というところに、例えば特別支援学校の生徒さんというのを今後入れていただけると、本当に10代の障害のある人たちの意見というのは貴重になってくると思うんですね。障害のない人よりも生きづらさや生活にしんどさを感じている若い世代も多いので、次の部会にはぜひそういった支援学校の、聴覚支援であれば手話通訳があれば全然意見も言えますので、そういった障害のある人たちのウェルビーイングに対しての意見も調査していただけたらなというふうに思います。

橋爪座長

事務局いかがでしょうか。2件ありました。

政策企画部先進事業担当課長

ありがとうございます。

障害者の方を含めたいいわゆるウェルビーイングというのは非常に重要な問題かなと考えております。この国の指標の中にも障害施策に関しての項目であったりとか、そういったものがありますので、ウェルビーイングに関しまして、そういったところも出てくるかなとは思っております。

今回、ウェルビーイングの深掘りの調査につきましては、どちらかというところ、アンケートの項目につきまして、いわゆる南区に愛着があるかどうかであったりとか、南区に何年住んでいるかといったところを含めて、ウェルビーイングの全てを調査するというのはなかなか難しいところもございますので、そういった愛着であったりとか、どういったところに魅力を感じるかというところを中心にはさせていただいております。

今、おっしゃっていただいたような障害者の方を含めたような、いわゆる誰一人取り残さないというところにつきましても、障害施策推進課とかを含めて、市として対応していかないといけないところだというのは認識しております。

以上です。

#### 橋爪座長

ほかいかがでしょうか。  
お願いいたします。

#### 向井構成員

堺市として「堺スマートシティ戦略」というのが出てるんですけども、この中で、南区のユニークさみたいなんが出せるんですか。例えば堺市全体から比べて、よくあるのが、公園を比較したときに南区は公園がほかの区に比べたら倍ぐらいに広いから、公園面積があるから、公園は造らない。公園課ははっきりそう言うてるんです。公園は絶対もう造れない。今、小学校跡地の問題を解決しようとしてるんですけども、そこでぶつかっている。堺市全体で考えたときと、南区というのを考えたときと、政策としてどこまで本気で南区を出していけるんかと。地域性も全然違いますし、堺が広過ぎるんで、北の方面と南といつも違うなど、違いは明らかに出てると思うんですけども。同じようにする必要は全くないですけども、南区に特化するというのはどこまで本気でやる気があるのかなというのを、何かええお考えされてたらお聞かせ願いたいと思うんですけど。

#### 政策企画部先進事業担当課長

スマートシティそのものを堺市全体で進めている課として少しお答えさせていただきます。

我々堺市全体でスマートシティを進めるという、これは間違いない事実でございます。その中で重点地域として泉北ニュータウン地域というものを設定しております、これは何かといいますと、やはり南区がスマート区役所をやられているというのもあるんですが、まち開きから56年、今、57年目に入っていると思いますが、やはり例えば高齢化の問題であったりとか、あるいは公的賃貸住宅が5割以上を超えているというようなところ、それからやはりこちらの指標でも出ておりますけれども、自分たちの町をつくってきたというところでの愛着というのが非常に高いというところ、こういったところを含めて、かなり特色のある地域だと考えております。

我々堺市だけがお金を出してスマートシティを進めるかということ、当然そ

ういうことはなく、泉北スマートシティコンソーシアムということで、NTT西日本さんと南海電鉄さん、大阪ガスさんとコンソーシアムをつくっております。こういった中で泉北の特徴、例えば高齢化が進んでいるからこそヘルスケアというものをしっかりとしないといけないであったりとか、あるいは高低差が非常に高いというところ、それから高齢化が進んでいるというところで、なかなか出かけて買物に行くのもしんどいというような実態もありますので、モビリティのサービス、オンデマンドバスであったりとか、南海さんの協力を頂きながら進めていっているところであります。顕在化している課題に対してそれを実装する。スマートシティというツールを当て、まずはこの地域で実装して、ほかの地域、全市に広げていくというのが最も戦略的ではないかなというふうに考えて取組をさせていただいているというところでございます。

我々としては、政策企画部も入ってなんですけども、この泉北ニュータウン地域のところでまずスマートシティの実装をしたいと考えておりますので、そこについてはしっかりと考えていると答えさせていただきます。

**橋爪座長**

よろしいでしょうか。  
お願いします。

**鈴木有美構成員**

ウェルビーイングのデジタル田園都市国家構想の三本柱の一つという資料4-2ですごく大きなウェルビーイングとはみたいなのが描かれている中で、これを指標に予算とかをどういうふうに使っていくのか。デジタルインフラを整えるところに主に使われていくと思うんですけど、人の心を育てるのはやっぱり人だと思うので、若い人たち、子育て世代であったり、子どもに関しては、人を育てるための施策みたいなところに予算を使ってもらいたいなというところがあって。子どもたち、すごくデジタルにたけていて、ただ、子どもがずっとゲームやってる姿とかを見てると、すごく寂しい気持ちになったりとか。実際は人と人とのつながりで豊かな心を育む期間に、デジタルにすごくお金が使われてしまって。例えば緑道に誰か人を見守ってくれる人がいることによって、その緑道が生かされる、子どもたちがにぎやかに遊べるという環境ができると思うんですね。それはデジタルで解決できることじゃなくて、やっぱり人の存在によって豊かな心であったり体験というのは育まれるものだと思うので、子どもたちに関してのウェルビーイングというところには、デジタルというところに偏らずに、人というところに予算を使ってもらいたいなというところがあります。

高齢者の見守りとかスマートな手続というところは、大人が何とかできるんですけど、やっぱり子ども、18歳の高校生とかには、本当は悩みを言葉にできるような心を育めるような教育とか、そういう温かい人とのつながりとかというところに本当にたくさんお金を使ってもらいたいなと。それが緑豊かな町とマッチするなというふうに思えるので、何か分けて、大人のウェルビーイングと子どものウェルビーイングというところを考えていただけたらなと思います。

**区政企画室長**

ICTとかデジタルというのはあくまでもツールというふうに思っており

ます。もちろんそういうツールを使って、より便利な世の中をというところはあるんですけども。やはり南区として区民の皆様がウェルビーイングを感じていただけるように、「南区ブランド戦略」の緑とともにかなえる豊かな暮らし、これが南区のブランドとしてこれから定着して浸透できるように。皆様のウェルビーイングにつながるように。この会議で議論いただき施策に落とし込んでいきたいと考えております。

以上でございます。

**橋爪座長**

ほかいかがですか。

**向井構成員**

(資料 4-6) 2 ページ目の堺市南区主観指標まとめ、これをちょっと見ていて、先ほど中辻構成員の言われたこともそうやと思うんですけど、上の表の四角で囲んでいる部分をずっと追っていけば、50年前に泉北に引っ越してきた人(今、70代後半の人)が大体感じているような意見なんですね。子育てに本当にぴったりしてる。緑道があって、近くに学校があって、一番最初に泉北ニュータウンができた頃のその緑道を通っていけば、隣に町まで行ける。そこにはスーパーがあってみたい、その泉北ニュータウンができたときと同じようなイメージがそこにあるんですけども、今は全然世代も変わってますし、違うと思うんですね。そこら辺が今回のウェルビーイングの調査で、何か世代間ではっきり分かるように。例えば、今、子育て世代がどう思ってるか、それと高校生、大学生、これから結婚して子どもができる、その手前の子どもたちがどう感じてるかみたい、その辺の世代を追った何か比較ができれば。南区としてそこを深掘りしたほうが現実問題、南区に住んでいる人が、じゃあ世代が変わってどう感じているかみたい、ことがはっきり出てくるような、そういうアンケートを取ってほしいなと思います。

**政策企画部先進事業担当課長**

ありがとうございます。

今、まさしくおっしゃったとおり、我々もいろいろ調べていく中で、非常に疑問に思っているところがそこです、若い方々が実際に何にウェルビーイングを感じるのかというところが正直分からないというのが実情です。ほかの市とかもいろいろ調べてみましたが、やはり相対的に若い方はウェルビーイングが低いんですね。それは実際にはアンケート調査とかしていかないと分からないんですが、恐らく価値観が全然違うというところと、もうひとつ、やはり子育てであるとか、いわゆる生活の中に必死になっている、そういった中で、例えば景観であったりとか、そういったものを感じる余裕もないという意見も、若い方とお話している中では意見としてあります。

今回もアンケートの中では、この南区に住まわれてからどれぐらいたっているんですかというところと、ぶっちゃけた話、何に対してウェルビーイング、幸福といいますか、満足度を感じますかというところを実際に入力のほうで入れていただくという項目をつくっております。

先ほど中辻構成員のほうからもありましたけど、若い方だけを狙っているわけではもちろんないんですが、若い方で実際によそから転入された方、あるいはずっとここに住んでいる方が、どういったところにウェルビーイングを感じているのかを知りたいなというところで項目も拾っておりますので、



このあたりも調査の結果を御報告させていただきたいと考えております。

**橋爪座長**

ほかいかがでしょうか。  
お願いします。

**小林構成員**

鈴木構成員の先ほどの子どもを育てる上で、やっぱり人とのつながりというものがとても大切という、そこに予算なり、ほかの資源を振り向けてほしいというお話があったと思うんですが、スマートシティにするとなっても多分同じで、子どもだけではなく若年代、いわゆる20代、30代、今、話題に上がっている方々というのは、社会人として言えば子どものような経験しかしていないという前提で。区役所の業務についても、やはり業務プロセスから見直していただきたいなというのが一つあります。

今までの既存の業務をそのままデジタル化するのではなくて、無駄なものだったり、重複しているものだったり。やっぱり何度も書かないといけない、入力しないといけないというのは誰にとってもストレスですし、あと高齢になって、スマートフォンやタブレットを触るのも大体介助が必要ですので。できたら、そういうシステムになるのかどうか分からないんですが、マイナンバーカードと連動させて、入力はほとんど要らないというような状況の機材みたいなものがきちんと区役所にあって、困り事をきちんと聞き取れる職員さんをぜひ育てていただきたいです。それを同時並行で進めていただけると、今、言っているスマートシティかつウェルビーイングな町が区役所主導で動き始めるのかなと思いますので、大変だと思いますが、よろしくお願いします。

**区政企画室長**

ありがとうございます。

今、小林構成員がおっしゃっていただきましたのが、先ほど南区がめざしている、資料で言いますと、資料2の部分に当たるかなと思っておりまして、南区役所では、戦略総務という考え方の下に、環境、人、情報という要素をもって進めています。特に人につきましては、今、小林構成員がおっしゃっていただいたように、窓口対応能力の向上、窓口に来ていただいた方のお困り事とかということをきちんと聞き取れる、何を求めているかということを聞き取れるという能力を向上させていきたいと思っております。

また、窓口でお書きいただかない、お待たせしない、そして、お越しいただかないといった、そういったところを三本柱としまして、全ての人に寄り添う優しい区役所の実現をめざしていきたい。南区がめざしているところでございます。

**橋爪座長**

ほかいかがでしょうか。  
お願いします。

**中芝構成員**

今回、ウェルビーイングの調査を、南区の中で、南区に住む方々の中でやってきたと思うんですけども、これは私の素人考えなので、できるかでき

ないかあると思うんですけども、南区にかつてお住まいであった方に、南区を離れてみてどうだったのか。なぜ離れたのか。離れた結果、南区のああいうところがよかったとか、そういうことを聞く場というのはなかなか難しいのかなと思いましたが。もちろん他の自治体へ行ったら難しいと思うんですが、例えば堺市の中で、南区から北区とか、堺区とか、別の区へ行った中で御協力お願いできますでしょうかということをしていながら、サンプル数は少なくなるかもしれませんが、同じようなアンケート、もしくはできたなら得な項目をつくってみて、サンプル的に並行でやってみると、南区の中のアンケートだけでは気づかなかったこともあるのかなと思ひまして。そういったところを含め、これと並行して、別の観点から切り口を求めていくのも一つあるかなと思ひました。よろしくお願ひいたします。

#### 政策企画部先進事業担当課長

やはり南区の横に位置する和泉市への転出が多いというところもございませし、他区で言いますと、やっぱり堺区、北区への転出というのもございませし。そのあたり、先ほどおっしゃったとおり、母数がどれだけ取れるかとか、調査ができるかというのはありますけども、一定そういった方も追っかけていながら、インタビューだったりヒアリングをしながら、どういったところがよかったのかと、悪かったから出ていったわけではないかもしれませんが、特色というのはしっかりとつかまえていきたいなと考えております。

#### 橋爪座長

ほかいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、およそ御意見いただいたということにさせていただければと思ひます。

本日はウェルビーイングとはこんな考え方で、このような流れで、今、作業をしているというところをまず把握いただいたと思ひます。

ご質問にありましたアンケートの母数の問題と、あと高齢者のほうに偏っているということに関しまして、若い人を対象に掘り下げた調査を行っていただくという説明もありました。

次回、その辺りも含めまして、堺市のほうでされている様々な調査の報告が上がってまいりますので、それに関して御意見いただければと思ひます。

その次の次の会などに南区のウェルビーイングをどのように示していくのかということを考えてまいります。可視化という言葉が区役所は使われておりますが、ちょっと私のほうから資料を御紹介したいと思ひます。

同じようなことを日本中の自治体でウェルビーイング、我が町のウェルビーイングとはこうなんだということの検証作業をされていて、それを踏まえて次の政策につなげていこうということがあります。

資料4-7の①を御覧ください。

これは香川県の三豊市の事例であります。まず、上のほうに青い管理・計測と書いてある右のほうに、どのように考えを回していくのかということで、全体を俯瞰して、因子探索して、シナリオを可視化して、ディスカッションして、また施策を決定して、モニタリングして、またぐるっと回って、施策を見直していくという考え方がある。我々もどのように今後データとかを生かすのかということも、南区なりの考え方があってよいかなと思ひます。

三豊市の場合、三豊未来マップを作成して、真ん中に三豊の豊かな暮らしを置いて、左上、ブルーのところは地域での居場所と役割を保ち続ける、右のほうに子どもも大人も皆が意欲的に学ぶ、下に地域産業を持続可能にすると。三つの方向性を行い、地域のめざす姿を真ん中の丸のところに並べ、よりよくなると。これは改善するべきところかと思いますが、よりよくなりべきところと、様々な取組を一番下に置いておると。

この図は見方もいろいろでしょうけど、真ん中に近いところが地域のめざす姿を並べた丸い円で、このあたりを、あとは空き家の減少とか、元気に働けるとか、最後まで自宅だと書いてあります。この書き方一つ一つが各自自治体それぞれの個性ですが、こういう事例が一点ございます。

もう一つ、資料4-7②を御覧ください。

これは富山県のウェルビーイングの考え方の図であります。先ほど国の示しました絵をもうちょっと組み替えたもので、ここは割とウェルビーイングって何だという、みんなで考えようという呼びかけ型です。雲みたいなウェルビーイングみたいな人が何か説明をしているふうな絵になっています。

漠然とウェルビーイングをめざすということはどうしたらと思うけど、構成要素ごとに考えていけば分かりやすいということで、要素に分けたチャートをつくっております。結構利他意識とか、希望とか、ポジティブ感情とか、そういうふうな、あまりなかなか行政の計画では出てこないような言葉が出てきています。こういうような言葉は割と個性的な使い方をしてよしということが分かるかと思えます。

また別の事例です。資料4-7の③を御覧ください。

熊本県はウェルビーイングという言葉が何か流布される前から、県民幸福量、従来の行政目標の中で、県民の幸福量を最大化するというのを掲げてきました。熊本で生まれてよかった、住んでよかった、ずっと住み続けたいということを考えることが、県の計画の上位概念になっています。総合計画みたいな、中長期というか短期の計画だと思えますが、こういう絵を掲げております。

一番下に喫緊の課題で、行財政改革、川辺川ダム問題、水俣病問題があり、熊本市政令指定都市誕生に向けた取組がベースにあると記載されています。

12の戦略があって、4つの分野があります。それぞれに県民の幸福量をデータ化しています。数値化をして積み上げていって、県民幸福量を高めていくことをめざしています。

ウェルビーイングという言葉がないときに、幸福な地域づくりというのを、ほかの様々な目標より上に置くというので、こういうチャートをつくられていました。

こういうほかの事例をまねするのではなく、南区独自の打ち出し方を工夫せよということでもあります。事務局から次の次の回ぐらいいですかね、南区ならではのこういう示し方が出てまいりますので、それはまた御覧いただきながら御意見いただくというふうな形にさせていただければと思っております。

本件は御紹介したということで、次々回、南区バージョンの御意見を頂くということにさせていただくということで、本件は以上です。

## 2. 議題 (5) その他

橋爪座長

では、次第の議題の5番目ではありますが、そのほかということで、事務局より説明をお願いいたします。

**区政企画室長**

お手元の資料5-1のチラシのほうを御覧ください。

南区役所では、第1期堺市南区政策会議での御意見を踏まえましてまとめた南区ブランド戦略に基づきまして、南区ブランド「M&GREENs」の確立を現在めざしております。

「M&GREENs」は緑とともにかなえる豊かな暮らしを南区ブランドとして表現したもので、今後、ブランドの確立に向けた取組に広く活用するため、ここにありますように、締切りを令和6年3月3日、日曜日として、現在、この「M&GREENs」のロゴのデザインを公募しております。

資料5-2の募集要項のほうを少し御覧ください。

その募集要項の8のところに、審査方法及び審査基準というのが記載されております。そちらのほうを少し御覧ください。

この応募いただきましたデザインの選考方法のところなんですけれども、1次選考では、南区役所職員によりまして、2次選考に回します候補作品を10点程度選考いたします。そして、2次選考、最終選考に当たるんですけれども、既にメールのほうで御依頼させていただきましたように、堺市南区政策会議の構成員であります皆様方に審査を行っていただき、そして、最終採用作品1点を決定したいと考えております。

具体的な審査方法につきましては、改めてお知らせさせていただくこととしておりますけれども、何とぞ御協力のほうをよろしくをお願いいたします。

以上でございます。

**橋爪座長**

質問ありませんか。

どうぞ。

**向井構成員**

これはそもそも、このロゴマークなんですけども、コンセプトは何なんでしようこのロゴマークのことはちょっと分かってなくて。

**区政企画室長**

昨年、一昨年と2年間にわたりまして、第1期堺市南区政策会議を開いておりました。その中で構成員の皆様より御意見を頂きまして、南区ブランド戦略というものをまとめたところでございます。そのブランド戦略の中で、これから南区ブランドというのを周知、そして定着させていくためには、ロゴマークというのをつくって、皆さんに御活用いただいて、見ていただく中で、このブランドというのを定着させていく必要があるというような御意見を頂いておりましたので、その南区ブランドを表す文言としまして「M&GREENs」、みどりとともにかなえる豊かな暮らしというのを南区ブランドとして掲げたところでございます。それを表現するロゴ「M&GREENs」の商標登録を行ったところでございます。今後これをロゴマークとして、いろんなところで使っていただくような形を考えております。できれば、やはり行政だけではなくて、地域の皆様、企業の皆様、いろんな団体の皆様に御活用いただけるような形でロゴマークをつくり、南区のブランドと

して定着させていきたいというふうに考えております。  
以上でございます。

**向井構成員**

その南区の根幹になるコンセプトみたいなものは明確ではないんですか。漠然とした南区をPRしていくためのロゴマーク。例えば一つ進め方として「みなみ・みどりのわくわく教室」というのをされてますよね。これは幼稚園とかこども園を対象に、そこに子どもたちが体験するという、農家と提携して体験するというような形をこの目的として掲げられてるんですけども、この辺のことがターゲットといいますか、対象がこの子どもたちということなんでしょうか、このロゴマークの。

**区政企画室長**

いえ、ロゴマークの意味合いとしましては、募集要項の趣旨の1番のところにも書かせていただいているんですけども、このMというのは南区の魅力、未来を表しまして、&GREENsというのがあふれる緑や緑空間の中での様々な豊かなライフスタイル、これは自然だけではなくて、安全・安心、健康・癒やし、そして自然環境といったことを表しております。

**向井構成員**

例えばはっきりした、こういう例えばスローガンで、これを訴えていくと。南区として、例えば一般にこういう南区のポジションはこんなですよみたいなことを表現するようなロゴマークみたいなことなんでしょうか、万人に対してというか。

**区政企画室長**

この「M&GREENs」というのは、みどりとともになえる豊かな暮らしというのを表現するものとなっております。

**向井構成員**

その背景みたいなものは何かあるんですか、そのみどりの暮らしみたいな。例えば農家が主体であるとか、例えば南区と言えば、ほかと比べて農地が広いとか、例えば農作物の産業があるとか、何をどう表現していくのかなど。

**区政企画室長**

もちろん南区は、緑の多い緑比率も非常に高い、公園の1人当たり面積も非常に高い。そういうようなエビデンスを持った中で、南区としてあふれる緑を活用して、南区のよさというところを伝えていきたいというところがございます。それだけではなくて、南区にはやはり安全・安心な暮らし、そして健康な暮らし、そして緑とともに心が癒やされるといった癒やし、そして、目で見ても美しい、きれいだなというような風景があったり、自然があったりというような環境、その辺りも含めて、それをイメージ化したものと考えております。

**向井構成員**

普通、ロゴマークを決めて、私自身が過去の経験で企業のロゴマークを考えたりスローガン、例えば何かを伝えたいといったときに、その何かコンセ

プトをまず先に文字で表して、それを表すビジュアル面としてロゴマークを考えてきたんですけれども、主観的にこのフレームとして、何かちょっと漠然として思うんですよね。緑豊かな、生活まで全部いくのか、例えば産業としてこれから売り出していくのか、例えば南区の竹細工を作って、その竹細工を売り出していくのか、例えば南区の農作物をブランドとして展開していくのか、何かその辺がちょっと私はまだ理解ができてないというか、ちょっと漠然としているような感じなんで、それが例えばロゴマークの募集という形でかけたとしても、この緑豊かな未来みたいなんの捉え方が、何かちょっと、人それぞれあっていいんかも分からないですけど、そこから出てきたものをどう絞り込んで、そこで評価を出していくのかというところが、何かもう一つちょっと決め手に欠けるような結果にならないかなと思って。

#### 橋爪座長

本件、ブランド戦略推進・魅力創造部会をずっとやりまして、ここでも何度も報告させていただいたブランディングの資料を見ていただくと、書いてあります。

#### 中辻構成員

先ほどありましたわくわく教室、実際に畑に行って、大根とキャベツと白菜引いて、自然の中で。私、Mというのは未来やと思うんです。そういう経験から、子どもたちが、12月20日ですから寒かったです。寒かったですけど、こんなに広い大地の中で、こんなに野菜がいっぱいあってという中で、自分らで、実際にだっこして。白菜とかキャベツを引いた子の中では、もしかすると農家というか、そういうことをやってみたいなと思う子が出てくるんじゃないかなというふうな経験をさせてもらったと思うんですよ。ですから、「M&GREENs」というのは、私は南区というよりも、未来という感じで、未来に向かっていく南区の中でのグリーン、緑。こんだけ広い南区にあるものを使ってやっていったらいいんじゃないかなというのがあるので。私は思うんですけど、このロゴマークは、その意味というのはみんなで作っていったらいいなと思うんです。ただこれがこうだからでなくて、このMについては、今後つくって行って、子どもたちと一緒につくっていったらいいし、お年寄りと一緒につくっていったらいいし。「M&GREENs」というのは、私はそういう意識を持って、明確な目的というのはないんですけど、何かしらこの「M&GREENs」の旗の下、ロゴマークの下で南区が発展したらいいし、子どもたちがまたいろんな成長をしていったらいいなと思って。この前、わくわく教室へ行って、そう思ったんです。

#### 向井構成員

私の知ってる子ども会では、子どもたちに泥んこ遊びから、田植えから収穫まで順番にやってる。そういうのを見てて、そこから出発するんであれば、そういう子どもたちと、その背景の子育ての家庭が、子どもと一緒に楽しめる南区みたいな。何かそういう広がりがあって、家庭をターゲットに、子どもたちだけの展開じゃなくて、その背景の家族、そこから広がっていきそうな何かロゴマークみたいな、方向性みたいなものを持ってれば、出発点としてはすごくいいかなと。南区を、子どもたちから広めていくというのも一つ方法かなというのを、今、感じました。

**鈴木有美構成員**

私のロゴマークのイメージなんですけど、くまモンみたいなものかなと思ってまして、猫の写真を「M&GREENs」にばんばんと貼って、南区の野菜に貼ってあって、堺区の人が見て、おお南区やみたいな。何か一周回って県外とか府外に行ったら、「M&GREENs」を貼ってあって、何かそれでちょっとうれしくなるみたい。だから野菜にも貼ってあるし、お花屋さんにも貼ってあるし、そういう何か活動があったら、「M&GREENs」が貼ってあってというイメージで考えてるんで、ぼんやりしてていいのかなというところも感じて。それが何かみみちゃんと違う部分で、もしこれを選んでもらうときに、私みたいな年の方がつけててもぱっと分かるし、恥ずかしくもないような、何かそういうものなのかなと思って。そういうふうに捉えて、それをぱっと見たときに南区のものなんだとか、何かそう思いたいなと思っています。

以上です。

**橋爪座長**

恐らくみみちゃんは生き残るんですね。ただ、「み」のシンボルマークは、消えていきそうな気がします。

**向井構成員**

堺のめぐみとも重なってくると。

**橋爪座長**

いや、またこれは南区独自のもので、平仮名の「み」みたいな、南区のマークがあるんですけど。

**向井構成員**

農作物への展開とかそんなはないということですか。農作物への展開とか南区の。

**橋爪座長**

いろんなところで使ってもらう、Mにはいろんな意味があるので、ありとあらゆる南区関連のものには無料で使っていただけるかと。一応登録はしてもらうことになってますでしょうか。ちょっとその辺も含めて説明を。

**区政企画室長**

使用基準につきましてはこれからつくっていくことになるんですけども、やはり先ほどおっしゃっていただいたように、団体さんとか地域の方とか企業の方、大学の方、いろんな方にこの「M&GREENs」というこの方向性を共感していただき、取組であったり、いろんなところに使っていただけるようなものにしていきたいと考えております。南区のこのブランドを浸透させていきたいと思っております。多くの方に利用いただけるような形で、今後、利用基準等々をつくっていけたらと思っております。

また、ここにお越しいただいている皆様方にも御協力いただきながら、このロゴマークを広めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

#### 谷口副区長

もともこのブランドを立ち上げる目的というか、一つの契機としましては、やはり南区の魅力というのを向上させて、結局はやはり住んでいただきたい。ずっと区政企画室長からも説明しておりますように、暮らしのスタイルというのを入れたいということは、やはり南区で住み続けるということと、南区で育つ、南区に来ていただいて、魅力を感じていただく。当然働く、私たちみたいに働くということ、学ぶという、いろんな機会があるとは思いますが、ベースとしては、やはり住んでいただく、そこで住み続けていただく、そこで魅力を感じていただくということがベースになります。ですから、今、構成員の皆様から頂いた御意見はやはり子どもということと、小さい頃から農に携わっていただいて、南区でこういうことが学べるというのを学んで感じていただいて、それを伝えていただきたいというところもあります。ターゲットはお子さんであってもいいし、大人であってもいいし。「M&GREENs」と見れば、これは南区やなというようなことが分かることをできればめざしたいと私たちも思っておりますので、いろんな世代の方にやはり住んでよかった、暮らしてよかった、働いてよかった、学んでよかったという、総合的なものにしていければいいなど。主にはやはり住む、ずっと住んでいただくというところがあるのかなと考えております。もともとはそういうところから発出しております。

#### 橋爪座長

みみちゃんは特定の商品と並べたらあかんとかも規制があります。そこはちょっと許諾の仕方なんですけど、南区産の、南区の活動は全部&GREENs展開ができれば思っております。行政の中でも調整が必要なことと思っておりますので、よろしく願いいたします。

さっき申し上げたみみのマークがどうなるかはまた検討をと思っております。

#### 区政企画室長

高校生の部会の中でも知らないというような御意見も頂いております、なかなか浸透していないというようなところもございしますが、公募で募集したものでございますので、検討させていただきたいと思っております。

#### 橋爪座長

ちょっと時間も来ておりますが、アンケートについてお願いします。

#### 上山参事

私のほうからは、最後につけさせていただいている南区におけるウェルビーイングに関するアンケート調査御協力をお願いについて御説明させていただきます。

本日の会議の中でも、国が作成しましたウェルビーイング指標に基づいて、南区の特徴というのを説明のほうをさせていただきました。今日の説明というのは南区の全体的な特徴を捉えていただくための説明にはなっているんですけども、このウェルビーイング指標を使って、年齢別の感じ方というのを分析することを今後は考えております。

そのウェルビーイング指標の分析に加えまして、今回お配りしているアンケート調査というのを同時並行で実施をしております。

区民の皆様のニーズを明らかにすることを目的として、今現在、アンケー



トの調査をしておりますので、御協力のほうをよろしくお願いいたします。  
このアンケートの回答数、回答内容が今後の議論の元にもなると思っておりますので、回答の御協力、また周知の御協力を何とぞよろしくお願いいたします。

説明は以上です。

**中辻構成員**

目標としての数字というのは何ぼぐらいなんですか、目標は。

**上山参事**

400あれば一定の分析ができるというふうに聞いておりますので、目標値は400です。

現在、100ちょっと超えているところで、正直ちょっと伸び悩んでおりますので、ぜひとも御協力のほうをよろしくお願いいたします。

**橋爪座長**

ほかよろしいでしょうか。

では、本日の議事、以上でございます。

次回以降も南区のウェルビーイングにつきまして議論を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は長時間にわたりありがとうございました。

事務局に進行をお返しいたします。

**区政企画室主幹**

座長、ありがとうございました。

構成員の皆様、本日は長時間にわたり御議論いただき、誠にありがとうございました。

これをもちまして、第2期堺市南区政策会議第3回全体会を終了いたします。

閉会（午後8時35分）